

表2 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県

(羽)

オオハクチョウ				
都道府県		H16年度	H17年度	H17-H16
増加	福島	3,219	5,780	2,561
	宮城	7,027	7,614	587
	青森	4,189	4,644	455
	岩手	3,482	3,731	249
	茨城	584	712	128
減少	北海道	6,019	5,265	-754
	山形	7,713	7,370	-343
	秋田	2,472	2,347	-125
	島根	37	2	-35
	千葉	19	15	-4
全国計		35,825	38,660	2,835

(羽)

コハクチョウ				
都道府県		H16年度	H17年度	H17-H16
増加	長野	1,467	3,015	1,548
	島根	1,576	2,839	1,263
	宮城	2,398	3,433	1,035
	滋賀	303	1,231	928
	福島	5,105	5,785	680
	新潟	19,072	11,747	-7,325
減少	山形	8,954	5,814	-3,140
	鳥取	1,229	724	-505
	石川	1,012	796	-216
	北海道	794	602	-192
全国計		44,804	40,619	-4,185

(羽)

マガン				
都道府県		H16年度	H17年度	H17-H16
増加	島根	3,566	3,970	404
	滋賀	3	78	75
	富山	0	71	71
	石川	0	37	37
	栃木	0	20	20
減少	宮城	95,420	92,493	-2,927
	岩手	1,326	50	-1,276
	福井	2,059	1,059	-1,000
	新潟	1,956	1,122	-834
	佐賀	19	2	-17
全国計		104,416	98,976	-5,440

(羽)

ヒシクイ				
都道府県		H16年度	H17年度	H17-H16
増加	宮城	3,556	4,830	1,274
	新潟	4,843	5,697	854
	福井	28	398	370
	島根	89	135	46
	滋賀	557	592	35
	秋田	529	1	-528
減少	山形	154	42	-112
	石川	217	161	-56
	岩手	14	0	-14
	福島	4	1	-3
全国計		10,052	12,006	1,954

(羽)

マガモ				
都道府県		H16年度	H17年度	H17-H16
増加	茨城	20,722	32,834	12,112
	大分	6,834	13,956	7,122
	宮城	13,255	18,775	5,520
	岡山	3,218	8,632	5,414
	栃木	13,185	18,523	5,338
	山形	51,084	7,640	-43,444
減少	岩手	8,719	4,770	-3,949
	秋田	7,129	4,298	-2,831
	富山	6,179	3,433	-2,746
	北海道	6,744	5,562	-1,182
全国計		394,289	419,126	24,837

(羽)

スズガモ				
都道府県		H16年度	H17年度	H17-H16
増加	長崎	6,353	36,309	29,956
	島根	14,040	34,527	20,487
	福岡	395	14,184	13,789
	千葉	62,365	66,074	3,709
	大阪	1,543	4,668	3,125
	愛知	50,100	36,861	-13,239
減少	東京	49,763	38,379	-11,384
	静岡	9,889	712	-9,177
	岡山	21,069	17,926	-3,143
	佐賀	2,627	0	-2,627
	全国計	237,050	269,094	32,044

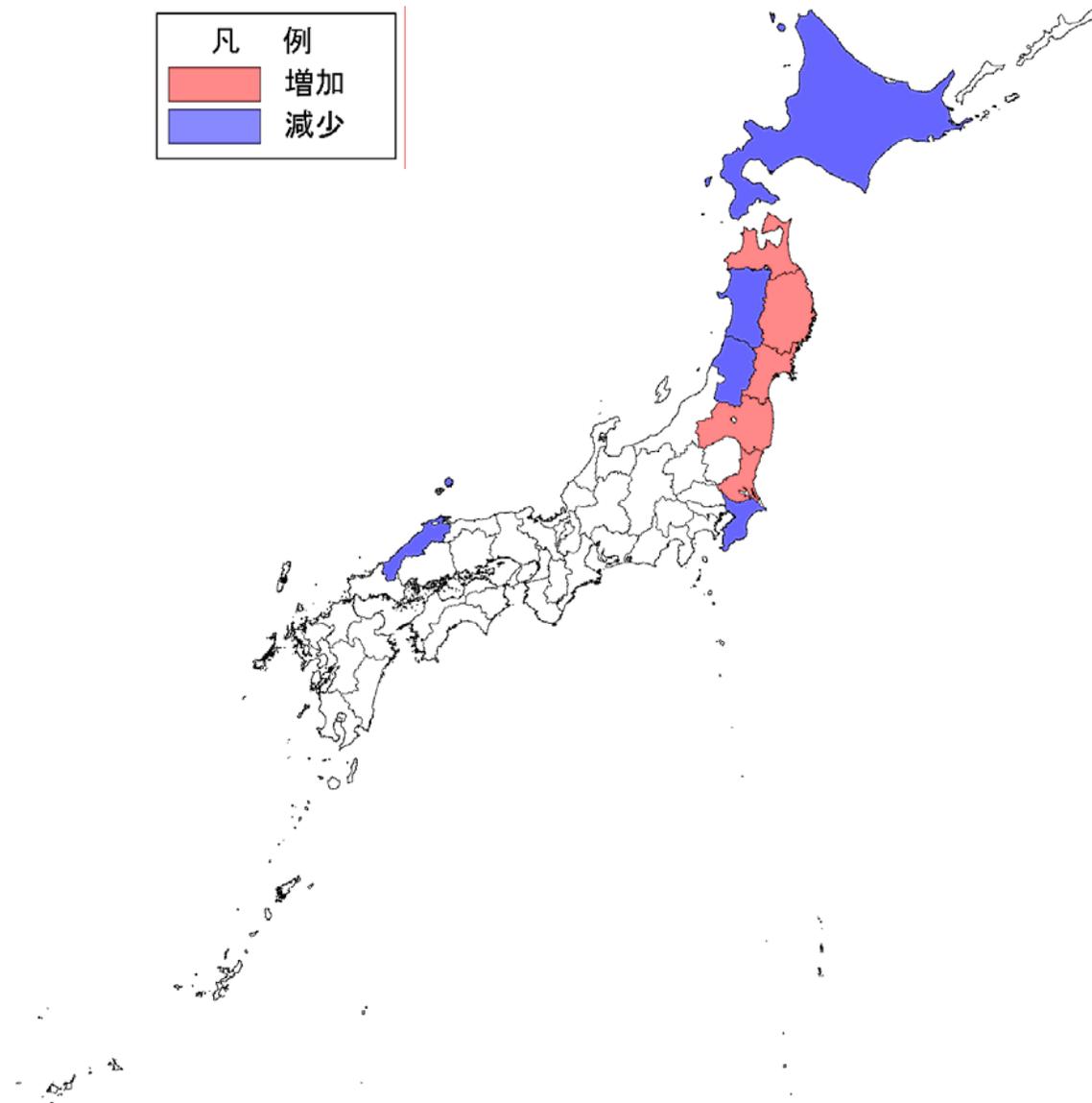


図2-1 オオハクチョウ 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県

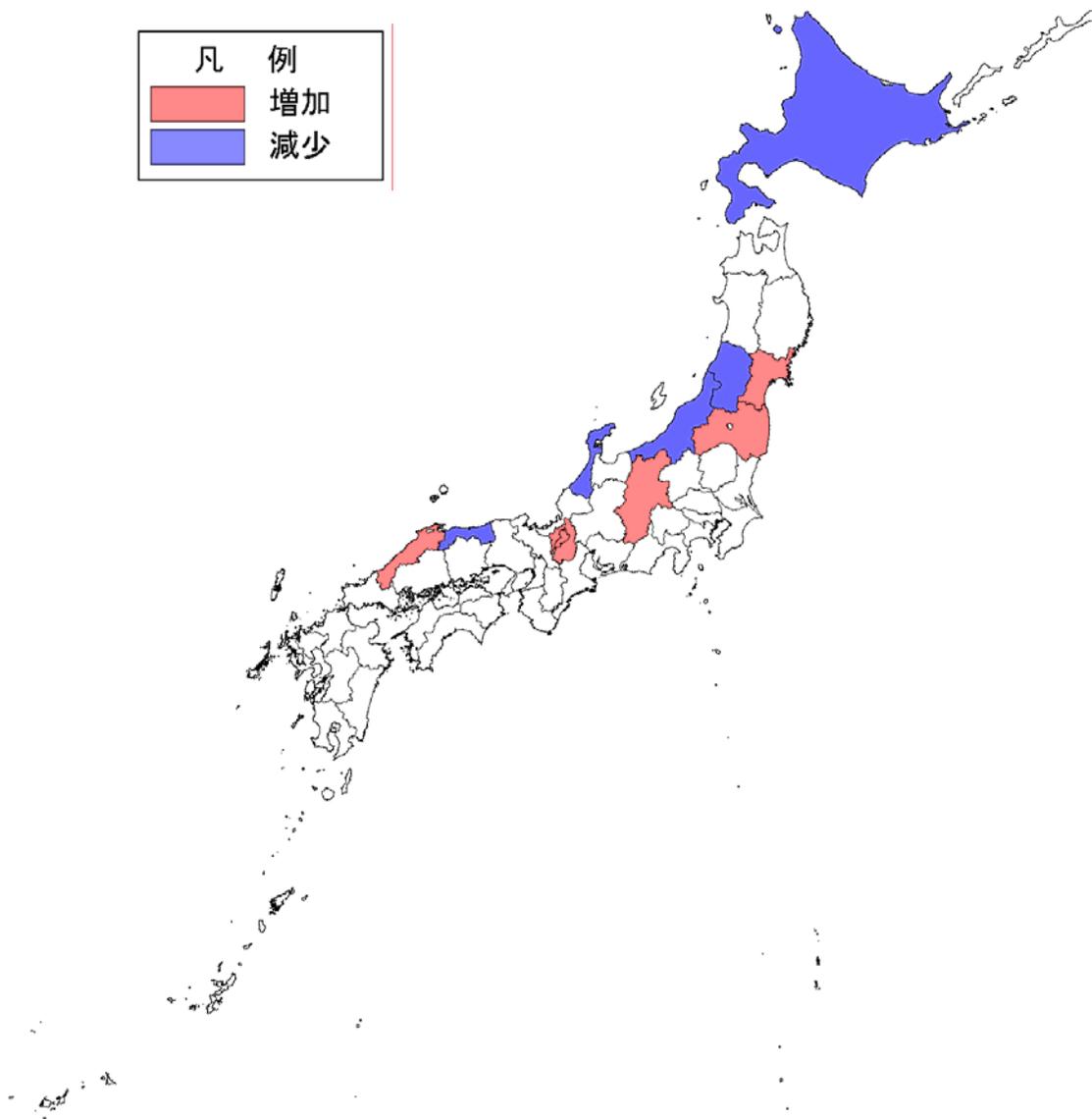


図2-2 コハクチョウ 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県

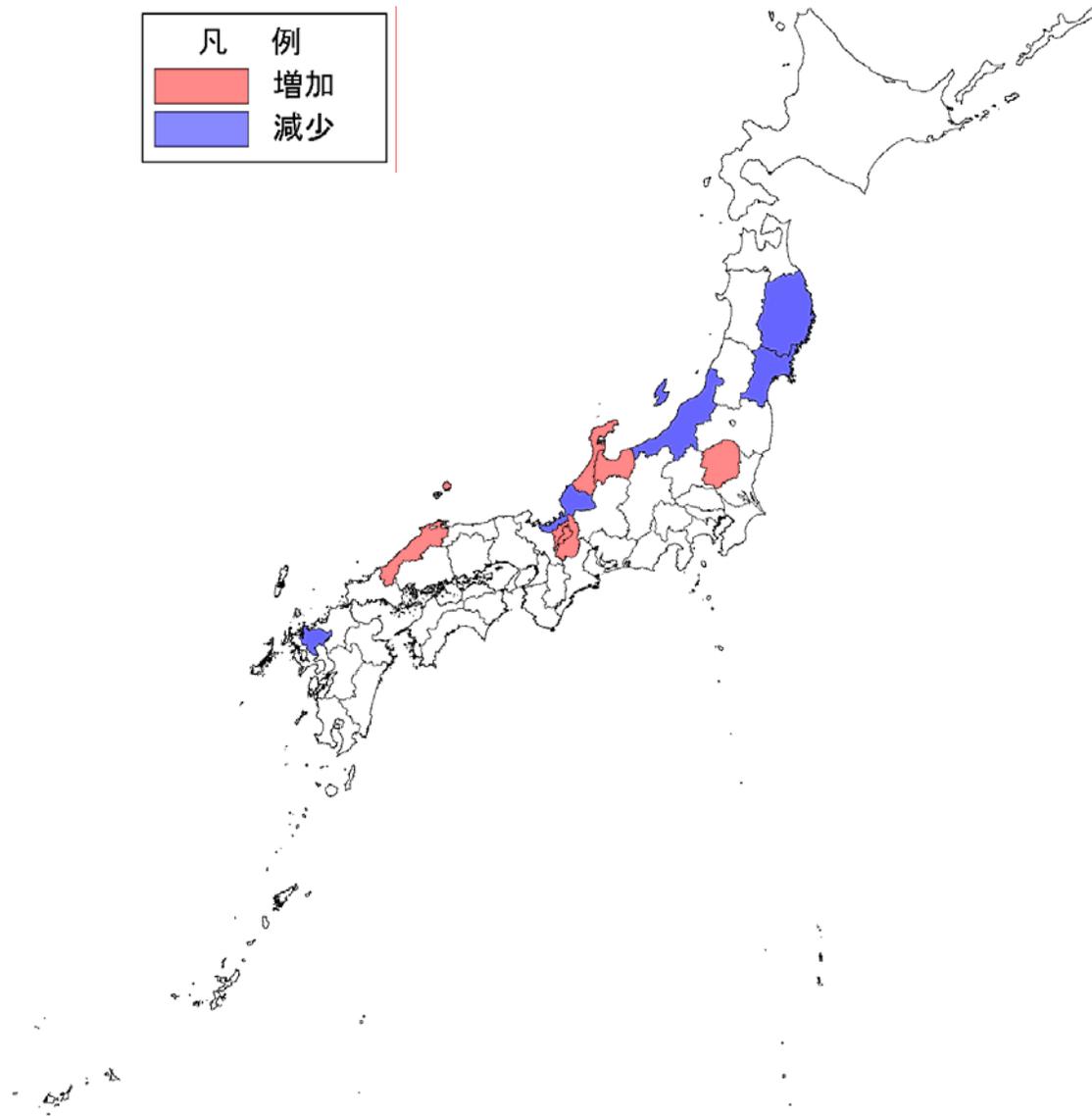


図2-3 マガン 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県

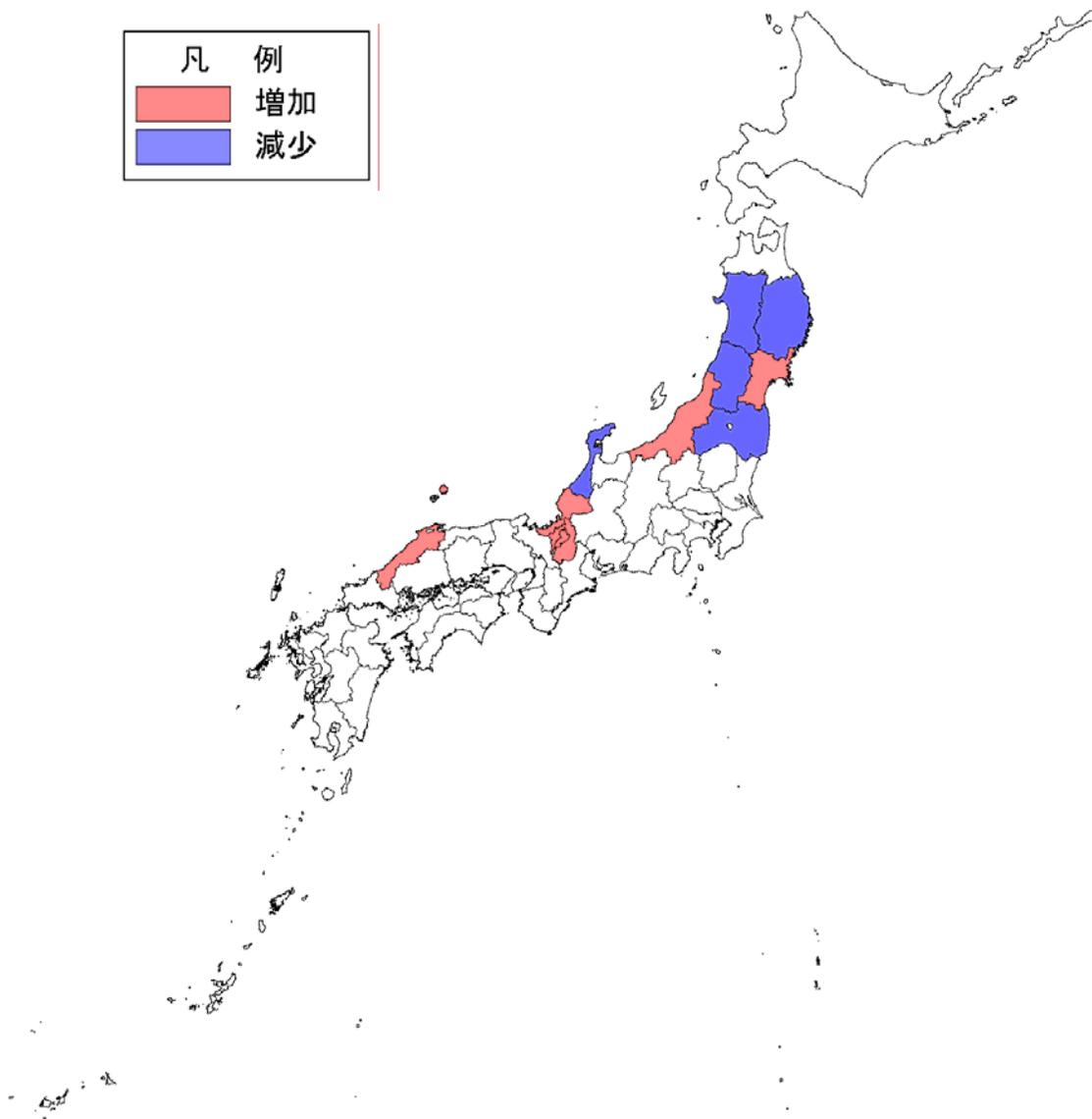


図2-4 ヒシクイ 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県

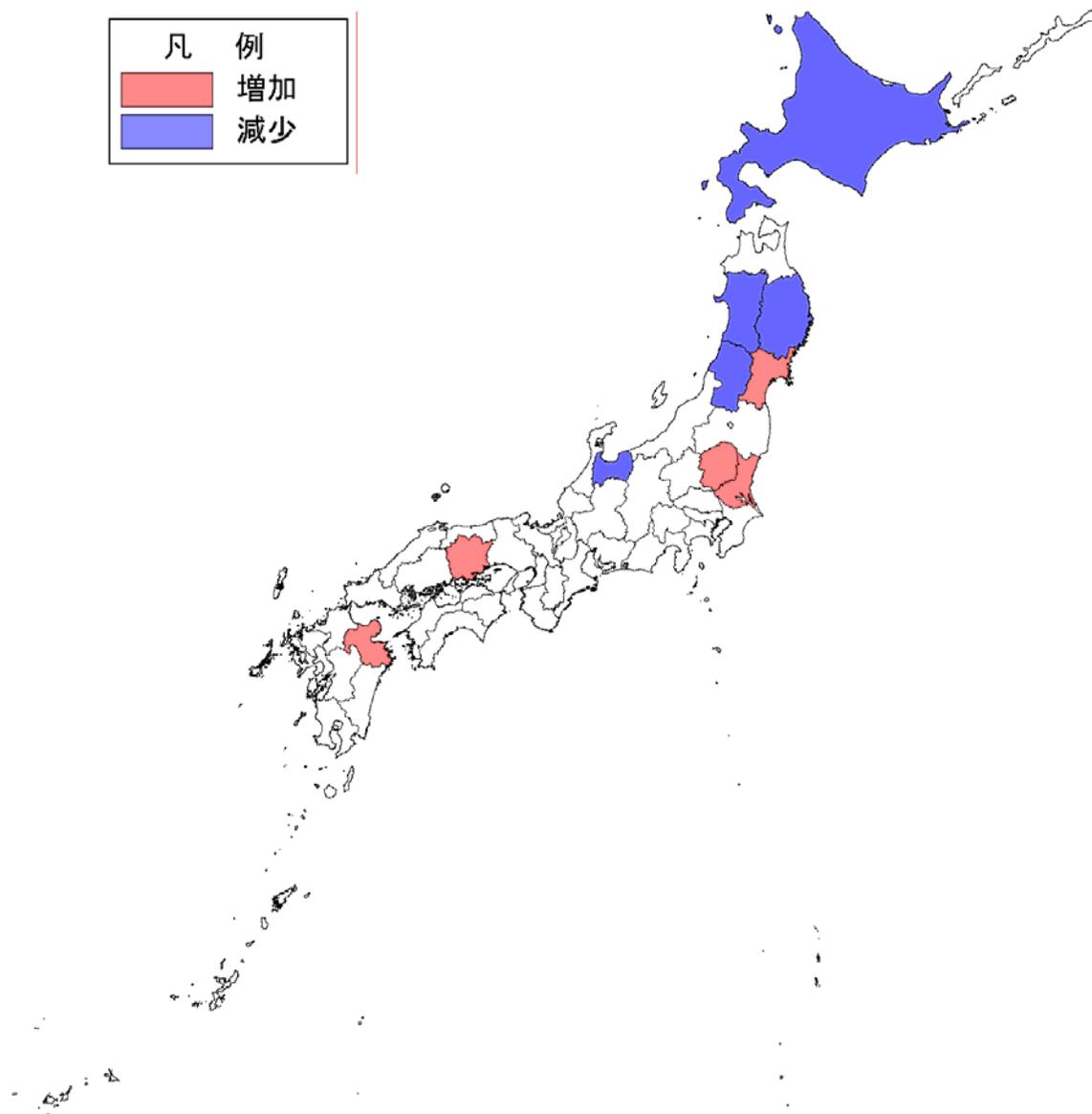


図2-5 マガモ 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県

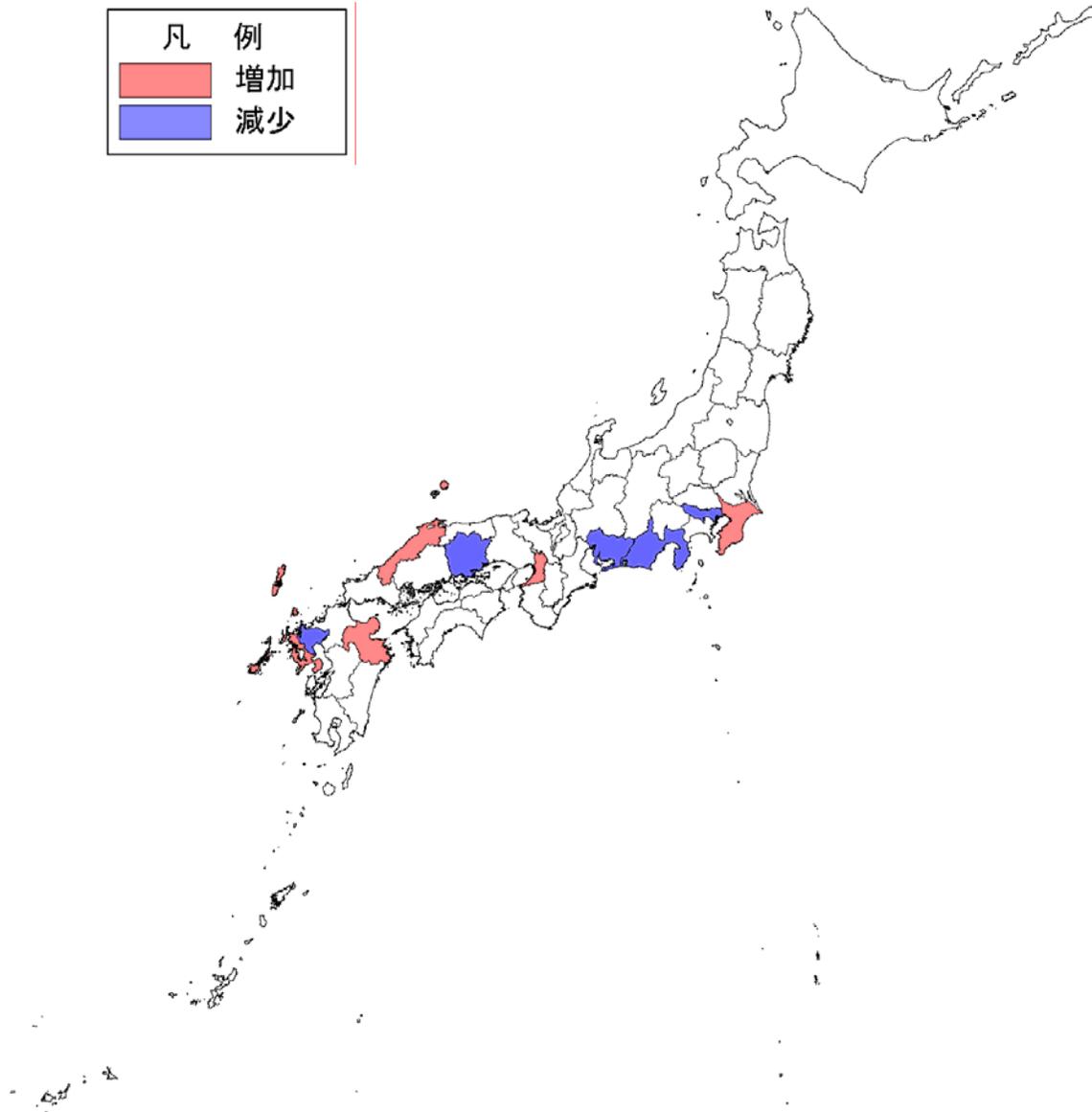
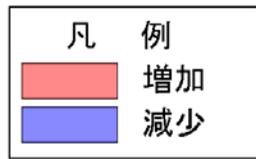


図2-6 スズガモ 平成16年度と平成17年度で観察数の変動幅が大きかった上位5都道府県